

# えがお

心身ともに健康になろう！  
八坂中学校 保健室  
保健だより  
令和4年6月10日

久しぶりに観客を入れて行われた運動会は、大いに盛り上がり、大成功に終わりました。大きなけが人もなく、安全に実施できたのは一人一人が自分の健康管理を心がけていたからではないかと思えます。

6月は土曜授業・定期考査と忙しい日々が続きますが、「自分の健康は自分が守る」という意識をもって生活していきましょう。



## 6月の保健目標：歯の健康について考えよう！



6月4日～10日は「歯と口の健康週間」です。

今年度の歯科検診では、虫歯のある生徒は14人（6.3%）歯肉炎がある生徒は9人（4.1%）、歯垢がついている生徒は33人（15%）顎関節や歯並びなどの経過観察が必要な生徒は34人（15.5%）という結果でした。昨年度と比べるとむし歯と歯並びについては変わらず、歯肉炎は減少、歯垢ありは増加していました。歯垢がついている状態が続くと歯肉炎へと繋がっていきます。



	令和3年度	令和4年度
むし歯あり	15人（6.5%）	14人（6.3%）
歯肉炎あり	17人（7.3%）	9人（4.1%）
歯垢あり	14人（6.0%）	33人（15%）
歯並びなど	36人（15.6%）	34人（15.5%）

毎日、歯を磨いている人はほとんどだと思いますが、きちんと歯垢を落とすことができていない人は少ないのかもしれない。自分の歯磨きについて見直してみましょう。



## 定期健康診断の結果を配付します！

本日、今年度の健康診断の結果を記入した「定期健康診断の記録」を配付しましたので内容の確認をお願いします。内容に間違いがありましたら、保健室・平塚までお知らせください。

また、今回配付した「定期健康診断の記録」は各家庭で保管をお願いします。

☆治療や精密検査を済ませた人は済の印を押しています。（6月6日現在提出済のもの）

欠席等で受けられなかった人は6月30日までに校医の先生の病院にて検診が受けられます。なるべく早めに受けるようにしましょう。また、各検診で「受診のすすめ」をもらった人は早めに治療に行くようにしましょう。



文部科学省より令和4年5月24日付で「学校生活における児童生徒等のマスクの着用について」が示されました。内容については以下の通りです。

新型コロナウイルス感染症対策

# 子どものマスク着用について



人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はありません。また、就学前のお子さんについては、マスク着用を一律には求めています。



## 就学児について

（小学校から高校段階）

### マスク着用の必要がない場面

**屋外**

- ・人との距離が確保できる場合
- ・人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合

＜例＞離れて行う運動や移動、鬼ごっこなど密にならない外遊び

＜例＞屋外で行う教育活動（自然観察・写生活動等）

**屋内**

- ・人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合

＜例＞個人で行う読書や調べたり考えたりする学習

**学校生活** 屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際

※運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、各競技団体が作成するガイドライン等を確認しましょう

※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を徹底しましょう

**高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。**

## 就学前児について

保育所・認定こども園・幼稚園等の

**2歳未満**

マスクの着用は推奨しません。

**2歳以上の就学前の子ども**

他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めています。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。



**気をつけるポイント**

- ▶ 夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、マスクを外すことを推奨します。
- ▶ マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。

※その他地域の状況に応じて、講じられている対策がある場合、それを踏まえ対応をお願いします。



新型コロナウイルス感染症予防のために（厚生労働省HP）



ひとくらし、みらいのために  
**厚生労働省**  
Ministry of Health, Labour and Welfare



**文部科学省**

新型コロナウイルスに関連した感染対策に関する対応について：  
幼小中高・特別支援学校に関する情報  
（文部科学省HP）



☆熱中症のリスクが高い夏場において、マスクの必要のない場面では、熱中症予防を優先し、マスクを外すことが推奨されています。その際、人と十分な距離を確保し、会話を控えるようにしましょう。